

エコニュース さって



第 15 号

平成 19 年 1 月 25 日

幸手市市民環境会議

(幸手市環境保全課内)

TEL48-0331

(市民環境会議各グループの活動から)

エコライフDAY 2006 (速報)

昨年 12 月 3 日に実施し、たくさんのご参加いただいた「エコライフDAY」は、今集計を行っています。コメント欄にもたくさんのご意見や、あふれる思いを書いていただきました。

今回は、新しい参加グループが加わりました。

幸手高校と幸手商業高校が参加しました。

(株)エース・パッケージも加わりました。

権現堂川地域環境保全協議会は、今回から協議会として取り組むことを決め、会員に参加を呼びかけました。

ご協力ありがとうございました。

夏のキャンペーン 埼玉県

「エコライフDAY 2006」は既に埼玉県下では、夏のキャンペーンが終わり、川口市、熊谷市、戸田市など 31 市町村、23 万人が参加しました。

前回(10万5千人)と比べると参加者は約 2 倍に増えました。

企業や団体、高校の参加が増えています。

二酸化炭素の削減量は 140 トン。約 20 人分の 1 年間の排出量に相当します。また、ブナの天然林の年間吸収量に換算すると 21 ヘクタール分に相当します。

実施率の高い項目は、冷蔵庫の扉を閉める、明かりを消す、ゴミ出しルールを守るなど。

低い項目は、レジ袋をもらわない、過剰包装でないものを買う、プラグを抜くなど。

環境省

「暖房やめます」

環境省はこの冬は同省庁舎の暖房をしないことに決めました。昨冬に約 1 ヶ月試行してみて平均室温は 24 度に保たれ、約 20 トンの二酸化炭素削減効果があることがわかりました。今年は、84 トンと試算しています。

市民環境会議は、「環境基本計画」に市民の皆さんの声を折り込むために作業してきました。そして今、環境ナビグループ、環境マップグループ、生態系グループ、腐葉土つくりグループ、グリーンコンシューマーグループが活動に取り組んでいます。誰でも参加できます。問合せは、幸手市市民環境会議(48-0331)まで。

(市民環境会議各グループの活動)

さくらの落葉リサイクルで腐葉土づくり

今回は1月の切り替えし

<第8回腐葉土づくりの会>

11月19日(日)新しいメンバーも加わって23名で今年度第2回の腐葉土づくりが行われました。昨年度の今日が腐葉土づくり会の発足の日でした。天気予報では午前中から大雨でしたが、参加者の意欲が伝わって危機一髪で雨が降らず作業ができました。

今回の作業は、引き続き新井先生の指導の下で、腐葉土床を3基に増設し、第1回(10月1日)に仕込んだ1回目の切り返しを行うとともに、環境課が集めたさくらの落ち葉と更に園内のさくらの落ち葉を集め2基目の腐葉土仕込(3層に積み込みよく踏み込みながら各層に硫安、米ぬかと適量の水をまく)を行いました。

作業を終了後、新井先生の好意で先に「ふようど農園」で収穫した最後のサツマイモを蒸かして全員で頬張り味わいました。

12月17日(日)第9回の会の集まり(切り返しと3基目の仕込み)と2月末のジャガイモの種いも植えを約束して解散しました。

今年は、第3床目の腐葉土を仕込んだぞ！！

<第9回腐葉土づくりの会>

(18年度第3回)

12月17日(日)天気予報では小雨の予報でしたが、年末の忙しい中参加された15名の皆さんの意気が伝わって、曇りとなり、寒い中での作業を行いました。今回は、第1床の2回目の切り返し、第2床の1回目の切り返し、第3床の仕込みを行いました。

第1床は10月1日と早目に仕込んだことから、11月～12月の温暖化が影響して発酵が促進され、湯気が立ち上り多くの白い菌糸が見られ、今にでも見えそうに熟成していました。第2床も暖かくなっていたので発酵が進んでいる様子でした。

今回も、全員で交替で切り返しを行い、楽しく賑やかに作業して、寒かったですけど気持ちよい汗をかきました。

第3床の仕込みでは、環境課が集めたさくらの落ち葉と、更に全員で、野球場周辺まで足を伸ばして落ち葉を集めて高く積上げ、皆で踏み込みました。

最後に、2月末には第1床の腐葉土を堆肥にしてジャガイモの種いも植え、5月のサツマイモや枝豆の苗植えなどの計画していることを報告し、また、毎月、第3日曜日(次回、1月21日)の参集を約束して解散致しました。引き続き、多くの皆さんの参加をお待ちしております。(澤村)



速報 1月21日(日)に第10回を行いました。次回は2月18日(日)です。

ストップ・おんだんか アラカルト

大寒を過ぎて、まだ初雪も降らず、今年は我が家の蘇鉄は菰を被せなくてもいいかなと思っています。九州では、カエデの紅葉が遅れて、年越しをした所もあるとか、一方で、もうタンポポや梅、菜の花があちこちで早々と咲き始め、とりわけタンポポは気象観測史上最も早い開花(長崎・徳島) 神奈川の二宮町(二宮尊徳で有名な)の菜の花は昨年より20日早く咲き、もう見ごろになったとか(1月10日)。毎日のように、地球温暖化や異常気象が報じられています。

津軽地方(青森県五所川原市)で20年やっている「地吹雪体験ツアー」が今年は、舞い上がるはずの雪がなく、中止に。富山では、高校総体が近づいたのに、雪が積もらず、そこら中から雪をかき集めて、ジャンプ台に最低35cmの雪をやっと貼りつけて間に合わせています。

海外では、スキー場が売り物のスイスでも雪が無いと大騒ぎ、ニューヨークでは桜が咲き始め、ロシアでは3度も気温が高い、などなど。北極圏に押し込められた寒気団は、温暖化の勢いに負けて、南に下りて来れないようです。おかげで、いったん値上がりした石油も予想外の需要減に勢いをそがれて、値下がりははじめました。

地球温暖化のスピードが考えていたより、ずっと早くなったかのようにみえます。

～あなたもそう思いませんか～

1月20日に、「不都合な真実」という、「地球温暖化」の脅威を訴えたドキュメンタリー映画が日本でも公開されました。

車社会なので「地球温暖化」に鈍感で、「京都議定書」に冷淡なアメリカでさえ、大きな反響を呼んだという映画です。元アメリカ副大統領ゴア氏の地球温暖化との闘いをテーマにした映画ですが、映像を通して地球の異変が迫り、「不都合な真実」(地球温暖化による人類滅亡のシナリオ)が訴えられます。ゴア氏は、この真実は政治家にとっては、極めて不都合なのだと指摘します。そして、「小さな努力を重ねることで地球を変えていける」と呼びかけています。

この映画、一見の価値あり。

この映画の影響か、ブッシュ大統領も年頭の一般教書に、地球温暖化問題を大きく取り上げ、ガソリン消費の20%削減を掲げました。阿部首相も、ブレア英首相やメンケル独首相らとの会談の結果を踏まえて、地球温暖化を中心とする環境問題への取り組み方針を「環境立国戦略」としてまとめることに決めました。どんな美しい国が描かれるのか、楽しみです。(本田)

2～3月の行事・活動

幸手市市民環境会議

落ち葉でリサイクル

腐葉土つくりとジャガイモの植え付け

2月18日(日)10時

場所：ひばりヶ丘桜泉園

*申込み先 本田さん 42-8412

幸手自然愛護会(会員 約80名)

バードウォッチング

2月17日(土)8時

3月17日(土)8時 最終回

集合場所：沼井公園観察デッキ前

(鷲宮町桜田3丁目)

*問合せ 横田さん 43-1373

花いっぱい咲かせ隊 (会員約30名)**花壇の整備**

2月17日(土) 毎月第3土曜日

3月17日(土)

場所: 駅入り口(御成街道交差点) 市役所モニュメント、幸橋など5カ所

*問合せ 折原さん 42-1459

倉松探検隊

2月3日(土) 14時から

倉松川探検とEM団子作り

場所: 中央公民館

*問合せ 細谷さん 43-3268

幸手地産地消研究会 (会員40名)

火、木、土、日曜日 10時~13時

ゆうあい農産物直売所

場所: JA本店倉庫・幸手郵便局東隣

*問合せ 増田さん 42-3813

環境まちづくりフォーラム・埼玉

新しい田園都市づくりをめざして

はじめよう! つながろう! 環境まちづくり

2月25日(日) 9:00~16:30

会場: 立正大学 熊谷キャンパス

参加費: 500円(資料代)

9:30 講演: 高村弘毅(立正大学学長)

(分科会)

10:30 フィールドワーク(見学)

14:00 事例報告

(全体会) 16:00~

(分科会内容)

1. カッパ(河川環境) 大麻生公園

2. メダカ(水田水辺)

ムサシトミヨ保護センター

3. キツネ(里山) 観音山

4. ミミズ(ごみ)

大里広域衛生センターほか

5. ナマズ(省エネルギー)

太平洋セメントほか

6. タケノコ(環境教育) 別府沼公園

エコ・リサイクル交流集会2007

『築こう! 持続可能な社会』

~ みんなの工夫で実現へ ~

2月3日(土) 10:00~16:30

会場: さいたま市民会館うらわ

主催: 埼玉エコ・リサイクル連絡会、埼玉県

午前の部 10:00~12:00

テーマ < どのような食品リサイクル

> ~ 企業では、家庭では ~ >

農林水産省総合食料局 西野豊秀

・・・改正に向け審議が行われている食品リサイクル法の概要

NPO法人 小川町風土活用センター

代表理事 桑原 衛さん

・・・小川町の農家と消費者の連携による家庭系生ごみリサイクルの取組について

午後の部 13:15~16:30

○ 第1分科会「ごみ処理状況について」>>

ごみ処理状況を公開している先進的取り組み事例を2つの市(坂戸・北本)からとして発表。加えてエコ・リサが調査した内容を交え、ごみを出す側、処理する側からの、ごみ情報に関するあり方を考える。

○ 第2分科会「ラクして省エネ快適住まい、ホップ・ステップ・ジャンプ!」

人はなぜ 冷房 28 度設定に失敗しやすいのか? 冬暖かく、夏は涼しい、空調に頼らずに快適に過ごす住まい方を提案。緑のカーテンは入門編、温暖化防止の基本から樹木の配列の工夫まで、考える。

○ 第3分科会「小川町発」- 地域でつくる循環の輪とネットワーク -

生ごみの発酵槽によるバイオガスと液肥の利用、自然エネルギーなどのNPOふうどの実践と資金調達法などの話に、他の事例も合わせ、県域のネットワークづくりを進める場とする。

< 申込み > 県資源循環推進課

ごみ減量化・リサイクル促進担当(齊藤)+

電話番号 048-830-3106

その他の活動グループ: 幸手権現堂桜堤保存会、幸手ひがし幼稚園、くらしの会、上高野婦人会、エコ・グリーン幸手